

令和7年度 宮城県特別支援教育研究会知的障害教育専門部

第2回 運営委員会 議事録

日 時 令和8年2月3日(火) 15:30～17:00

会 場 宮城県立気仙沼支援学校 相談室(オンライン開催)

15:30 1 開 会 (司会：気仙沼支援学校 山岸先生)

2 開会の挨拶 部 長 佐藤 進(気仙沼支援学校 校長)

15:35 3 研 修 「令和7年度地区活動・特別支援学校の校内研究について」(報告・情報共有)

※資料については、各自、知障専ホームページからプリントアウトする。

※各運営委員から一人1分程度で発表する。

別紙 各地区報告様式及び各学校研究報告様式参照

16:20 4 報告及び協議 (議長：気仙沼支援学校 池田先生)

(1) 報告：令和7年度事業報告について(経過報告)P3

資料参照

(2) 報告：令和7年度予算中間決算についてP4

1学級当たり¥250徴収し、すべて全特連へ納めている。

研修会等は、これまでの繰越金を使用して開催した。

(3) 報告：令和7年度本専門部研究奨励賞贈呈者の選考についてP5

呼びかけてはいるが、なかなか選出されない。よりよい方法を探っている。

(4) 報告：令和8年度 宮特研 「夏季研修会」についてP6・7

来年度は大河原地区から話題提供者を推薦してもらうこととする。すでに2名決まっている。

(5) 協議：令和8年度 本専門部「第47回研究協議会」についてP8

角田支援学校 菊池先生より

来年度は、第Ⅰ部に全特連の理事長 名古屋先生を選出。快諾をいただいた。

Ⅱ部には、角田支援学校卒業生を招き、進路関係の講演を予定している。

(6) 協議：令和8年度 知障専負担金について（8年度予算案） ……………P9

来年度の負担金について

R 7：全特連への負担金（¥250）のみの徴収。知障専の活動資金は繰越金を使用した。

来年度も繰越金の残高があることから、来年度の負担金を¥250 にしてはどうか事務局より提案。

予算書の負担金について、約 1200 学級あるうちの 1000 学級程度から徴収したものとして作成した。

(7) 協議：知障専Q&A（令和8年度版）について ……………P10・11

Q&Aについては、知障専HPにも掲載している。今年度は、設置校並びに設置学級数を追加した。

Q 5について触れ、来年度の事務局が角田支援学校になることも再度確認した。

名取 佐藤明日美先生

Q：負担金について、県立学校は各学校に対して請求されるのか、それとも県に請求しているのか？

A：県立学校については、県費で負担している。次年度についても、同様の対応となることを県に確認済み。（本校校長より）事務室で対応しているので支払いもそこで行われている。（小野寺）

船岡中 橋本環先生

Q：柴田町は町で一括して納入していることから、自分たちが知障専の一員であるという認識がない。より多くの教員が知障専についての理解を深めるために、各学校に資料の配布などをしてもらうことは可能か？

A：事務局からデータを運営委員へメールし、その後運営委員から各小中学校へ周知してはどうか？

Q：柴田町（認知が少ない地域）のみ？それとも、すべての地区でやる？

A：次年度の事務局の角田支援学校と相談し、来年度の第一回運営委員会で報告する。

(8) その他 会計監査について

※2月下旬に会計簿を締めて、監査してもらう予定

2月末～3月上旬で会計監査を実施予定。津谷小 菊地先生へ後日書類をお渡しし、監査後に宮特研へ報告する。監査結果については、来年度の第一回運営委員会で提示予定。

5 連絡・確認

(1) 次年度（令和8年度）事務局について

① 知障専事務局 … 角田支援学校

② 宮特研事務局 … 小松島支援学校

16:55 6 閉会の挨拶 …………… 副部長 菅原 信宏(角田支援学校 教頭)

17:00 7 閉 会